

1 次の3つの表中の①～⑥には、愛知県、鹿児島県、埼玉県、東京都、山形県、和歌山県のいずれかの都県が当てはまります。表をみて、下の間に答えなさい。なお、3つの表中の同じ番号には同じ都県が入ります。

表1 産業別人口構成

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
①	0.5%	15.8%	83.7%
②	1.7%	23.6%	74.7%
③	2.1%	32.7%	65.3%
④	8.4%	28.5%	63.1%
⑤	8.4%	21.0%	70.6%
⑥	8.1%	19.7%	72.2%

(2017年)

表2 耕地面積・林野面積

	耕地面積	耕地率	水田率	林野面積	林野率
①	6,900ha	3.1%	3.8%	77,000ha	35.3%
②	75,200ha	19.8%	55.3%	121,000ha	31.9%
③	75,700ha	14.6%	56.8%	218,000ha	42.2%
④	118,400ha	12.7%	79.1%	644,000ha	69.1%
⑤	32,800ha	6.9%	29.3%	361,000ha	76.4%
⑥	119,000ha	13.0%	31.9%	586,000ha	63.8%

(耕地面積は2017年、林野面積は2015年)

表3 昼間人口・夜間人口 (千人)

	昼間人口	夜間人口
①	15,920	13,515
②	6,456	7,267
③	7,586	7,483
④	1,120	1,124
⑤	946	964
⑥	1,646	1,648

(2015年)

\* 第一次産業は、農林水産業

\* 第二次産業は、製造業や建設業などの鉱工業

\* 第三次産業は、商業やサービス業など

\* 耕地率は、各都県の総面積に占める耕地の割合

\* 水田率は、各都県の耕地面積に占める田の割合

\* 林野率は、各都県の総面積に占める林野の割合

(各表は『データでみる県勢 2019』より作成)

- 問1 ①～⑥のうち、日本で最も南に位置する島ほどの都県に含まれますか。番号と都県の名前を答えなさい。
- 問2 次のイ～ホから、①～⑥について述べたものとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。
- イ ①～⑥のなかには、四日市ぜんそくやイタイイタイ病がおきた都県が含まれている。
  - ロ ①～⑥の面積を比べると、最も面積が大きいのは④で、最も面積が小さいのは①である。
  - ハ ①～⑥には、それぞれに人口100万人をこえる大都市があり、都庁や県庁の所在地になっている。
  - ニ ①～⑥のいずれの都県にも、水鳥の生息地として、重要な湿地を保護するラムサール条約の登録地がある。
  - ホ ①～⑥には、20世紀に、地震被害を受けたことはあるが台風被害を受けていない都県がある。
- 問3 ①は、同じ地方の3県と、通勤や通学などで深く結びついています。この①と隣接する3県を合わせた地域には、日本の人口のおよそ何%が集まっていますか。表3を手がかりに、次のイ～ホから最も近い数字を選び、記号で答えなさい。
- イ 5%      ロ 15%      ハ 30%      ニ 45%      ホ 60%
- 問4 ②、③で発達した工業の説明としてふさわしいものを、次のイ～ホからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
- イ 農家の副業として行われていた刃物や漆器など伝統工業の技術を生かし、現在では金属加工業や化学工業が発達した。
  - ロ 工業地域として衰えていたが、近年、多くの自動車工場がつけられ、自動車工業が発達してきている。
  - ハ 交通網が発達し、重工業を中心に内陸の高速道路沿いに多くの工場が建てられ、工業地域として発達した。
  - ニ かつては製糸業がさかんであったが、精密機械工業が発達し、現在では電気機械や電子部品の工業もさかんである。
  - ホ 古くから陶磁器の生産がさかんで、日本最大の工業地帯に含まれる瀬戸など、窯業が発達した工業都市がある。
- 問5 ④の自然環境や産業の説明として正しいものを、次のイ～ホから一つ選び、記号で答えなさい。
- イ 夏の高温と梅雨や台風がもたらす豊富な降水を生かし、一年に二回米を作る二毛作が行われ、米の生産量が多い。
  - ロ 夏には気温が上がり、雪どけによる豊富な水を生かすことで米作りがさかんだが、しばしばやませによる被害を受ける。
  - ハ 65歳未満の働き手がいる農家がほとんどで、人気の銘柄米を多く作っており、日本有数の米の生産地になっている。
  - ニ 日本有数の豪雪地帯で、急傾斜の屋根や温水を出して道路の雪をとくすくみなど、雪国ならではの設備がみられる。
  - ホ 冬にフェーンという風が吹いて火事を引き起こすことがあり、燃え広がるのを防ぐため、家と家が離れて立っている。
- 問6 ⑤は古くから林業がさかんで、木曾、尾鷲、高知と並ぶ、日本特産のある木材の主要な産地となっています。スギの他に、この都県で多く育てられている日本特産の木とは何か、名前を答えなさい。
- 問7 ⑤では、人びとからの募金をもとに自然環境を守る運動が行われてきました。森林の保護運動に、豊かな漁場を守るために漁業関係者が参加することもあります。なぜ、森林の保護が豊かな漁場を守ることにつながるのか、説明しなさい。
- 問8 ⑥では、耕地面積に占める水田の割合が低くなっていますが、その主な理由は⑥を含む地域の土が水田に適さないからです。この水田に適さない土とは何か、名前を答えなさい。

2 小学6年生の花子さんは、「私たちの社会と今後の課題」と題し、各テーマにそって、20世紀後半と、21世紀初めから現在までについてまとめ、今後の課題を考えてみました。これを読み、下の間に答えなさい。

テーマ	20世紀後半	21世紀初めから現在まで	今後の課題
日本の人口構成	人口の増加が続いた。出生率が低下し始め、少子高齢化が始まった。	人口の減少が始まる。出生率の低下が続く。法律の改正で成年年齢が①18歳となることが決まった。	働く人や、ものを買う人、②税金を納める人などの人口が減り、日本経済の規模が小さくなる。
日本人の寿命	1950年代の平均寿命は60歳代であった。100歳以上の人口は増え続けた。	平均寿命が男女ともに80歳代になった。100歳以上の人口も数万人まで増加した。	年金や医療など③社会保障制度の利用者が増え続け、制度の維持が難しくなる。
情報通信技術	テレビやコンピューターが普及し、家庭用インターネットが開発されて、仕事などでも使う人が増加した。	④スマートフォンの普及でインターネットを利用する人が急増した。納税など行政手続きが自宅でもできるようになった。	個人や企業、行政の情報流出事件がさらに増加していく。情報量が多くなり、正しい情報を見極めることがより難しくなる。
科学技術と仕事	企業が工場などで使う産業用の高度なロボットや機械が普及した。	AI(人工知能)が普及し、介護ロボット、自動運転などの新しい技術を使った製品が登場している。	⑤働く人をとりまく環境や働き方が変化し、今までとは違う能力が必要になっていく。
環境問題	工業化による公害を防ぐ取り組みや、省エネをめざす動きがみられた。	温暖化による自然災害が各地で起こり問題となる。再生可能エネルギーの利用がめざされるようになった。	国連で定めた⑥「( )な開発目標」の2030年までの達成をめざす。
核兵器	冷戦中に大量生産された核兵器を減らすことをめざす条約が結ばれた。	核兵器をめぐる議論が続き、国連で核兵器を禁止する条約が採択された。	
人権	国連で、女性や障がい者、少数民族などの人権を、差別や迫害から守る宣言や条約が採択された。	民族、性別、病気や障がいの有無による差別をなくし、⑦人権を尊重し、多様な生き方を認める社会をめざす取り組みが続いている。	差別をなくす法律などをさらに整えていく。生き方の多様性を大切にするとともに、人種や民族、性別をこえて、他者を尊重する社会の実現をめざす。

問1 下線部①について。日本国憲法に定められている国民主権に基づき、国民は18歳になると選挙権をもつことになり、最高裁判所に関わる重要な制度にも参加することができます。この制度を答えなさい。

問2 下線部②について。税金についての説明として正しくないものを、次のイ～ホから二つ選び、記号で答えなさい。

- イ 税金は社会を支えるために国民から集めるものなので、国会で予算が審議され、内閣で決められる。
- ロ 税金には、国に納める国税と、都道府県や市区町村など地方自治体に納める地方税がある。
- ハ 税金の種類には、買い物などで代金とともに払う税、土地や建物を持つ人が納める税などがある。
- ニ 災害復興支援、警察や消防の仕事、新聞の発行などは社会全体のための活動なので、税金でまかなわれる。
- ホ 少子高齢化が進んでいくなかで、高齢者の医療費などに使われる税金が、ますます増えている。

問3 下線部③について。

(1) 国民の健康や労働などの社会保障制度を担当している行政機関を、次のイ～ホから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 経済産業省      ロ 法務省      ハ 厚生労働省      ニ 総務省      ホ 環境省

(2) 次のイ～ホのなかから、社会保障制度と最も関わりの深い憲法上の人権を選び、記号で答えなさい。

- イ 平等権      ロ 自由権      ハ 環境権      ニ 生存権      ホ 参政権

問4 下線部④により、電子書籍や映像作品の違法な複製が問題となっていますが、これは何という権利を侵害しているからですか。

問5 下線部⑤について。憲法上の権利の説明として、正しくないものを、次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 性別に関係なくすべての国民が働く権利をもつ。      ロ 誰でも希望すれば、年齢を問わず自由に働く権利をもつ。
- ハ 働く人同士で団結する権利が認められている。      ニ すべての国民は、住む場所や職業を自由に選ぶ権利をもつ。

問6 下線部⑥について。( )に入る漢字4文字を答えなさい。

問7 下線部⑦について。

(1) 21世紀初めから現在までの人権を尊重する取り組みに関する説明として、正しくないものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ ハンセン病患者が、法律により長らく社会生活を制限されてきたことは、裁判で人権侵害だと認められた。
- ロ 結婚をして名字が変わっても、もとの名字を職場で使うかどうかを、選ぶことができるようになってきている。
- ハ アイヌ文化を保護するだけでなく、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が国会で採択された。
- ニ 国は一人一人の個人情報保護のための制度として、パブリックコメントの導入を進めている。

(2) 日本では人権を守るため、裁判で判決が出たあとにさらに上級の裁判所に訴える制度があります。この制度に従って、裁判がより上級の裁判所に進む順序として、次のイ～ニのうち正しく並んでいるものはどれか、一つ選び記号で答えなさい。

- イ 地方裁判所→高等裁判所→最高裁判所                      ロ 家庭裁判所→簡易裁判所→最高裁判所  
ハ 高等裁判所→簡易裁判所→最高裁判所                      ニ 地方裁判所→家庭裁判所→最高裁判所

問8 日本の政治は、日本国憲法に基づいて行われています。次に引用した憲法の前文の一部をふまえて、日本が今後どのようなことをめざしていったらよいか考え、表の太線で囲んだ部分に入る文を書きなさい。

われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

3 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

人びとの活動は、自然環境にさまざまな影響を与え、新しい風景をつくりだしてきました。人びとが定住を始めると、「むら」が出現し、本格的な農業が始まると、戦いにそなえて「むら」は堀や柵で囲まれるようになりました。時代が進むと生産力の向上が求められるようになり、①耕地は川の下流の平野部にも拡大していきましたが、水害を受けることも多くなりました。そのため、人びとは治水の努力を続け、河川の流路を大きく変えることができるまでに治水や土木の技術を発達させ、そのことが風景を一層さま変わりさせました。②江戸時代に行われた代表的な河川の改修工事としては、利根川や③大和川、木曾三川などの工事があげられます。

農業だけでなく、さまざまな産業も、自然環境に影響を与えてきました。たとえば、④鉄器が日本に伝わり、国内で生産が始まると、鉄をつくるために大量の木炭が必要とされ、森林が伐採されていきました。後に工業化が進み、⑤欧米の技術を取り入れた製鉄所で石炭を使うようになると、炭鉱の開発が進みました。また、機械や機関車の動力源としても、石炭の消費量が増えました。近代的な産業や交通の発達は、生活を便利にしていきましたが、その一方で⑥工場や鉱山から出る有害なけむりや廃水などによって自然環境の悪化が引き起こされました。

戦争による被害は、町や村の風景を大きく変えます。⑦源頼朝らが平氏をたおす戦いを始めると、平氏によって⑧東大寺などの大寺院が焼きうちをうけましたが、新たな技術を取り入れた再建が行われ、以前とは違う姿に生まれかわりました。⑨応仁の乱によって10年あまりの間戦場となった京都では、主要な部分のほとんどが焼けてしまいましたが、豊かな商工業者らが中心になって復興が行われました。⑩約100年間におよぶ戦国大名たちによる戦いも、各地の風景を変えていきました。

⑪明治時代以降、日本が海外で戦ったいくつもの戦争は、⑫朝鮮半島・中国・東南アジアや太平洋の各地を戦乱に巻きこみ、被害を与えました。日本がかつて占領していた地域には、日本が建てた建造物などが今でも残っていることがあります。日本の中には、太平洋戦争で⑬空襲を受け、焼け野原になった地域もありましたが、⑭戦後しだいに復興をとげていきました。特に⑮高度経済成長の時代には、大都市の間は高速道路で結ばれるようになり、都市では高層ビルの建設が進み、風景は大きく変わっていきました。

問1 下線部①について、各時代の日本の耕地に関して説明した次のイ～トから、正しくないものを二つ選び、記号で答えなさい。

- イ 律令のきまりにより、農民は国から耕地を割り当てられ、収穫した稲のおよそ3%を税として納めた。  
ロ 奈良時代になると、荒地を開発して耕地とした者に、その耕地の私有が認められるようになった。  
ハ 鎌倉時代になると、国ごとに一人置かれた地頭によって、耕地から年貢が取りたてられるようになった。  
ニ 16世紀終わりに行われた検地では、全国の耕地の面積や収穫高が、同じものさしやますを使って調べられた。  
ホ 江戸時代に新田開発がさかんになり、室町時代と江戸時代の中ごろとを比べると、耕地面積は3倍近くに増えた。  
ヘ 江戸時代には、肥料に油かすや干したイワシも使われるようになり、同じ面積の耕地からの収穫量が増えた。  
ト 明治時代になると、政府は耕地の面積に応じて、地租とよばれる税を地主に納めさせることにした。

問2 下線部②の時代の人やものの行き来に関する説明として、正しくないものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 朝鮮通信使は対馬藩に到着した後、対馬から下関、瀬戸内海沿岸を通して江戸に向かった。  
ロ 江戸の日本橋を起点とする中山道の関所であった箱根では、通行人が厳しく調べられた。  
ハ 北前船は昆布やにしんなどのえぞ地や東北地方の産物を、日本海を通る航路を使って大阪に運んだ。  
ニ アメリカの使節ペリーは、大西洋からインド洋を通り、琉球などに立ち寄って浦賀に来た。

- 問3 下線部③について。この川の流域の豪族たちがつくった大和朝廷が、各地の豪族を従えていき、支配を広げていきました。
- (1) 豪族たちの権力を示す建造物が、3世紀ごろからつくられるようになりました。それは何ですか。
- (2) 5世紀以後の朝廷に関して説明した次のイ～トを、時代の古い順に並べたときに、3番目と5番目になるものを選び、それぞれ記号で答えなさい。
- イ 国のおこりと歴史を記すため、『古事記』や『日本書紀』がつけられた。  
 ロ 藤原道長が3人の娘を天皇のきさきにし、政治の中心に立った。  
 ハ ワカタケル大王の時代、朝廷が関東や九州の豪族を従えていった。  
 ニ 朝廷が京都の北朝と吉野の南朝に分裂し、対立が数十年間続いた。  
 ホ 中大兄皇子が蘇我氏をたおし、天皇中心の政治のしくみをつくり始めた。  
 ヘ 武士が初めて朝廷の最高職である太政大臣に任命され、政治の中心に立った。  
 ト 家からではなく能力によって役人を取り立てるため、冠位十二階が定められた。
- 問4 下線部④と同じところに大陸から初めて伝えられたものを次のイ～トから二つ選び、記号で答えなさい。
- イ 青銅器    ロ 土器    ハ 骨角器    ニ 木綿    ホ 石包丁    ヘ 黒曜石のナイフ    ト 火薬
- 問5 下線部⑤のような製鉄所の一つである八幡製鉄所は、近くにあった日本有数の炭田から産出される石炭を使用していました。この炭田を答えなさい。
- 問6 下線部⑥について。明治時代に大きな被害を出した、栃木県の鉱山を答えなさい。
- 問7 下線部⑦について。源頼朝は、伊豆で兵を挙げた後まもなく鎌倉に入り、本拠にしました。鎌倉時代に、人やものはどのようにして鎌倉に入って来ましたか。鎌倉を上空から写した右の写真を参考にして、説明しなさい。
- 問8 下線部⑧について。東大寺の大仏もこのときに焼けてしまいました。大仏はつくられてから約何年後に焼けてしまったこととなりますか。最も近いものを次のイ～ホから選び、記号で答えなさい。
- イ 約50年後    ロ 約200年後    ハ 約400年後  
 ニ 約600年後    ホ 約800年後
- 問9 下線部⑨が始まったときには建てられていなかったものを次のイ～トからすべて選び、記号で答えなさい。
- イ 大阪城    ロ 銀閣    ハ 法隆寺の五重塔    ニ 中尊寺金色堂  
 ホ 日光東照宮の陽明門    ヘ 東大寺の正倉院    ト 平等院鳳凰堂
- 問10 下線部⑩について。
- (1) この時期に外国の新しい武器が伝わり、まもなく堺や国友などで生産が始まりました。日本人が新しい武器をすぐに生産することができたのは、ある技術が応用されたからです。その技術とは何ですか。次のイ～へから一つ選び、記号で答えなさい。
- イ 造船の技術    ロ 防塁づくりの技術    ハ 彫刻の技術  
 ニ 鍛冶の技術    ホ 磁器づくりの技術    ヘ 養蚕の技術
- (2) この時期に城のつくりに変化が見られ、城の中心となる大きな建造物がつくられるようになりました。それを何といいますか。
- (3) この時期に織田信長は、城下町で商工業を発展させるための政策を出しました。その政策を何といいますか。
- 問11 下線部⑪について。明治時代以降に日本が戦った戦争を始めた順にあげました。【A】満州事変、【B】韓国併合を入れるとするならば、【イ】～【ニ】のどこに入りますか。それぞれ記号で答えなさい。
- 日清戦争 → 【イ】 → 日露戦争 → 【ロ】 → 第一次世界大戦 → 【ハ】 → 日中戦争 → 【ニ】 → 太平洋戦争
- 問12 下線部⑫について。朝鮮半島には、16世紀終わりにも日本が出兵して被害を与えました。この出兵を命令した人物の名前を答えなさい。
- 問13 下線部⑬について。都市の子どもたちは空襲をさけて地方へ行き、生活しました。これを何といいますか。
- 問14 下線部⑭について。戦後の日本の説明として、正しくないものを次のイ～ホから一つ選び、記号で答えなさい。
- イ 日本とソ連との間の国交は回復したが、その後も平和条約を結ぶことはできなかった。  
 ロ 日本と中国との間では、日中共同声明が出されて国交が正常化し、日中平和友好条約が結ばれた。  
 ハ サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約が結ばれ、日本は米軍基地を引き続き置くことを認めた。  
 ニ 日本は韓国との間に日韓基本条約を結び、戦争中に被害を受けた一人一人に対する補償を行った。  
 ホ 日本が独立した後も、アメリカに統治されていた地域のうち、奄美群島が最初に日本に返還された。
- 問15 下線部⑮について。この時代に、エネルギー資源の中心が石炭から他のものに移りました。それは何ですか。



(国土地理院ホームページより)

